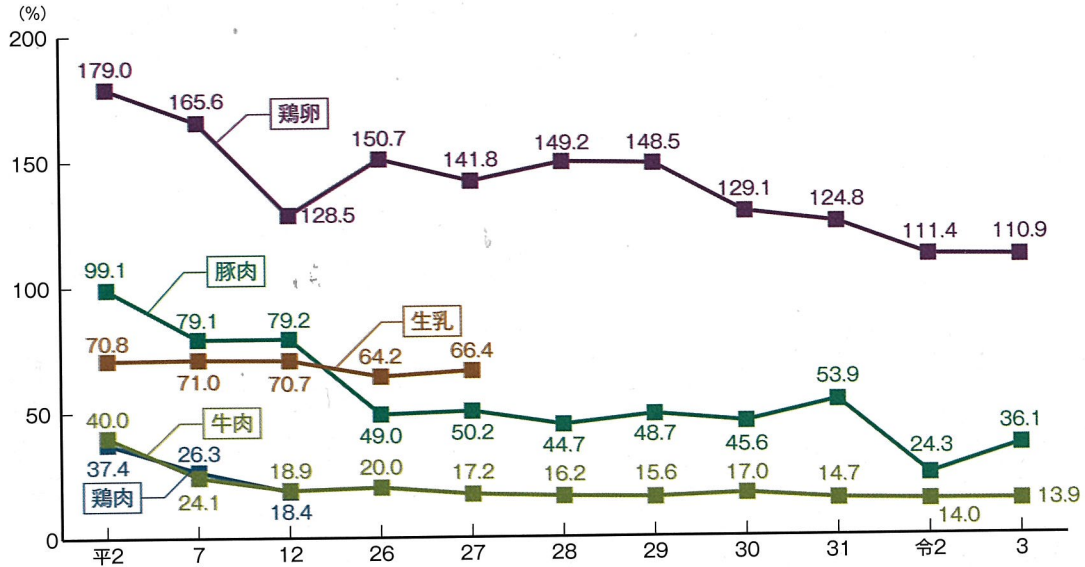


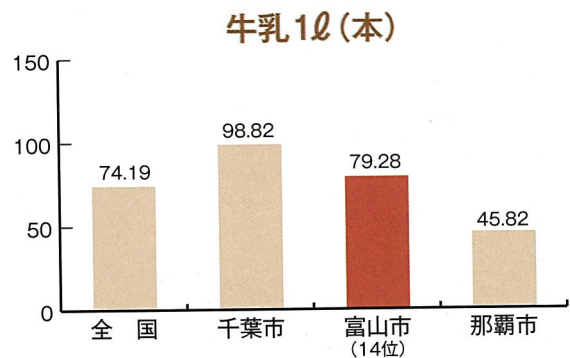
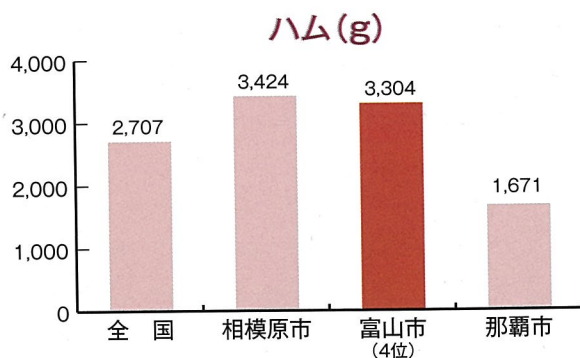
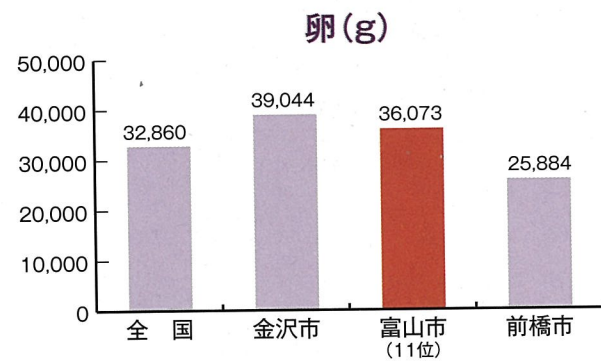
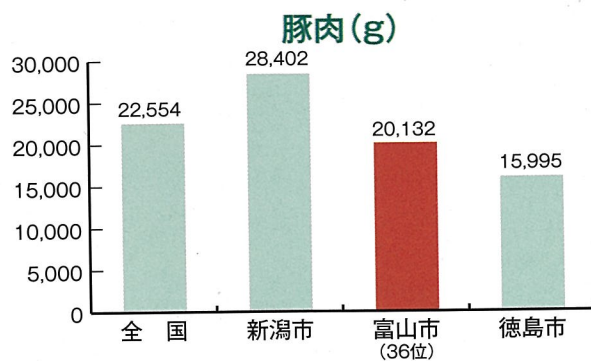
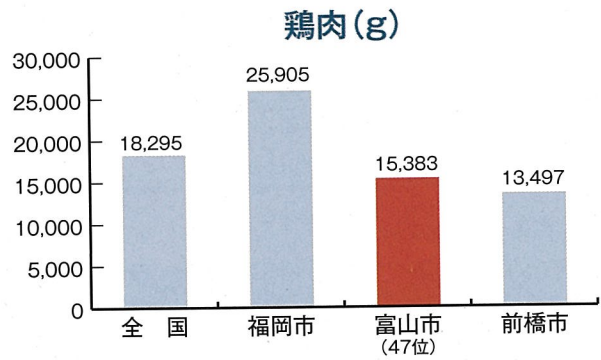
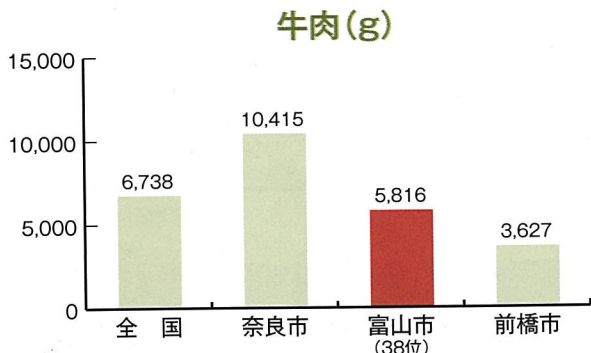
V 県内の消費動向

(1) 畜産物自給率の推移



農林水産省「牛乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」、総務省統計局「家計調査」他
 (注)生産量は出荷ベース、消費量は供給純食料や世帯当たり購入量に人口、世帯数を乗じた推計値。
 鶏肉は平成22年以降、生乳は28年より非公表又は調査を欠くため計算不能。

(2) 1世帯当たり年間の畜産物消費量(令和2年次)



「家計調査」対象:都道府県庁所在地(47カ所)及び川崎市、浜松市、堺市、北九州市、相模原市の52都市
 全国平均、最高都市、最低都市との比較を示す
 (注)二人以上の世帯